

議会改革 特別委員会 農業委員会と 意見交換会 報告

令和3年4月6日
午前11時より
養老町役場4階大会議室にて開催

議会改革特別委員会では、町内の各団体の皆さんにご意見を伺う会を開催しています。

今回は、農業委員会の方にご参加いただきました。

1人または2人の議員が入った4、5人のグループで5班に分かれ、テーマに沿った意見を出し合う、ワークシヨップ形式で行いました。コロナ感染症が心配される中、時間を押して活発なご意見が相次ぎ、大変有意義な時間となりました。ご協力ありがとうございました。



A班テーマ 「農業委員会の現状と課題について」

- ・担い手への農地の集積、集約化については、少子高齢化が進んでおり、後継者や若手農業者不足が問題。
- ・基盤整備については、未整備の地域は、積極的に進め後世に残す。
- ・農業委員相互の議論の場が必要である。



B班テーマ 「議会への要望や評価について」

- ・パトロールに議会（議員）も参加し、汗を流してほしい。
- ・耕作放棄地復元の方法や手続きは、個人では対応できない。
- ・ルール作りや補助金の創設を検討してほしい。
- ・議会は、農地視察等しているのか。



C班テーマ 「コロナ禍での農業委員会不安や対策について」

- ・県や町の農業施策を迅速に農業委員会に提示されたい。
- ・長時間の会議が出来ないため、研修会などが行えない。

D班テーマ 「農業委員会を活性化するための取り組みについて」

- ・引き続き、町や議会との意見交換会を定期的に行い、要望を明確化させ実施すること。
- ・女性農業委員の登用を望む。

E班テーマ「その他」

- ・農地として守っていく部分と企業誘致のバランスが課題である。
- ・農業委員は、地区委員を経験し町の農業委員になるのが望ましい。
- ・農業委員が就業者を一人でも多く推進する。
- ・スーパーサンシの進捗状況。

多くの貴重なご意見が寄せられましたが、紙面の都合上割愛させていただきました。全てのご意見に寄り添い、関係機関と共に前に進めます。（委員長

議会改革特別委員会

委員長…水谷久美子
副委員長…田中敏弘
委員…早崎百合子
岩永義仁
小寺光信
清水由美子
議長…吉田太郎
副議長…北倉義博
（4月6日当時）

あれからどうなったんやあ〜

シリーズ 99

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和2年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 改良住宅の譲渡施策の進捗状況は

こうなりました

改良住宅の譲渡は円滑な推進を図るため町議会議員、学識経験者等で組織された「改良住宅特別委員会」内で審議を進めてきました。

令和元年11月に「養老町改良住宅譲渡基本方針」が策定され、令和元年度から令和8年度にかけて改良住宅の契約者に対しての有償譲渡が始まりました。

令和3年度においては482戸中、160戸が譲渡受付の開始を迎えており、現時点で1件の譲渡の手続きが完了しております。

契約者からの早期譲渡の要望が少なくないため、住宅や土地の測量等を早め、2年の前倒しによって令和6年度までにすべての住宅の譲渡開始ができる方法を現在検討しています。

問 燃やせるごみ収集日の改善は

こうなりました



燃やせるごみの収集は、町内を2つのブロックに分け、週2回行っています。しかしながら、収集日が祝日や年末年始に当たり収集できない場合があります。

令和3年度のごみカレンダーでは、町民のご意見も伺いながら、週2回の燃やせるごみ収集を確保するため、収集委託事業者及び受入先である養老ドリームパークと協議を行い、年4日の特別収集日の設定や月2回のプラスチック製容器包装収集日の内、1回を燃やせるごみの収集日に振り替えるなど、収集回数の均衡を図りました。

今後とも、分別収集によるごみの減量化と資源化への取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

令和3年度は下記のように特別収集日等を設けています。
養老・上多度・池辺・笠郷
5月3日、7月21日、9月20日、9月22日、12月30日
高田・広幡・小畑・多芸・日吉・室原
7月23日

議会に対しての意見

シリーズ 37

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

(町内在住 Y・K)

最近気付いた事その1。

先日新聞に養老町民憲章の記事が出ていた。1973年に制定されたとか。48年前と言えば大学生の頃（やばい年がバレる）翌年オイルショックがあつて学生の就職氷河期がやってきた。高度成長直後の落ち込みだっただけに大変な思いだったと記憶しています。そして今、コロナ禍で就職に進学に難儀が付きまといまふ。

しかし、私たちと言えば65才以上のお年寄り。ワクチン接種も優先的。なんて優しい我が町養老。って気付きその2。

激動の時代を生きてきた私達ですが、これからも養老のために愛の輪をさらに広げ力を合わせて未来に続く明るい町を子供や孫のために作ります。っていきなりものです。

人生百年とか言われるこの現代社会、ジジバババこれからまだまだ頑張ろうぜえ〜！

黄昏応援団